



Let's Go to Playgrounds!



Go! 冒険遊び場に行ってみよう! Q&A

Q. 冒険遊び場ってふつうの公園と違うの?

A. 子どもがやりたいことができるよう環境を整えています。なにかに挑戦したり冒険したり、というワクワク・ドキドキする体験をたいせつにしています。

Q. 何歳から遊べるの?

A. たいていの場合、年齢の制限はありません。まだ早い、もう遅すぎる、などと考えなくてもだいじょうぶです。大人も楽しい遊びを発見して夢中になるかもしれません。

Q. だれがやっているの?

A. 自分たちの手で冒険遊び場をつくらうと、グループをつくって運営しているケースが多いです。子育て中のお母さんが中心になっているところもたくさんあります。

Q. 持っていくといいものは?

A. 汚れてもいい服と靴にして、できるだけ替えの服や靴、タオルなどを持って行くといいでしょう。汚れるからダメって子どもに言わなくてすみますよ。思いっきり遊べる方が楽しいです。

Q. どこにあるの?

A. 日本冒険遊び場づくり協会ホームページの全国冒険遊び場マップ、全国冒険遊び場一覧表から検索できます。

→ <http://ipa-japan.org/asobiba/>



* 冒険遊び場とは?

冒険遊び場は、子どもが「遊び」をつくる遊び場です。

そこでは火を使ったり、地面に穴を掘ったり、木に登ったり、何かものをつくり…。

落ち葉やどろんどろんの素材を使って、遊び場にあるスコップや金づちや大鋸を使って、自分のやってみたいと思ふことを実現していく

遊び場ともいえます。

禁止するのではなく、いっしょに考えてやってみる。

のびのびと思いきり遊べるこの遊び場は、子どもが生きる力を育む

ことを支えています。



Play! 私たちが大切にしたい「遊び」について

* 子どもにとって「遊び」とは?

遊びは、子どもにとって生きていることそのものです。

子どもは、自然環境の中で遊び、たぶりと五感を使ってさまざまな

ことに興味を持ち、いろいろな人とかかわりをつくり、自分のやり方

や自分のペースで、創意工夫をし、挑戦し、失敗し、それをのりこえて

成長していきます。

遊びは、そのすべてを子どもに届けることができます。



— 遊び あふれる まちへ! —

かまどを囲んでパンを焼いたり、
落ち葉のシャワーをあびたり、
子どもの遊び声をのんびり聞いてすごしたり。
遊び場ですてきな時間を見つけてください。



特定非営利活動法人
日本冒険遊び場づくり協会

〒154-0003
東京都世田谷区野沢3-14-22

[TEL / FAX] 03-5430-1060

[MAIL] asobiba@ipa-japan.org

[URL] <http://ipa-japan.org/asobiba/>



Play!

遊ぼう!

Let's Play and Have Fun!



遊ぼう！
羽根木プレーパークにて



「火に近づけすぎないよう」
「このくらいかな」
「もう食べてもいい？」
「こんがり焼けてるね！」



「わーい！」
「空まで落ち葉でいっぱいになっちゃった」



「お母さんも入れて〜」
「あ、いいな落ち葉のふん！」
「お母さんもおかき」
「ふん」



「火おこし」
「いいかんばい火になってきたね」
「まきくべるよ〜」
「まきくべるよ〜」
「まきくべるよ〜」

冒険遊び場アルバム
—秋・冬編—

冒険遊び場アルバム
—春・夏編—



「土を掘って川をつくろう」



「水がいっぱいたまってきたぞ」
「わーでっかいダムになっちゃったー」

ダムづくり
羽根木プレーパークにて



「いいところ、みつけた！」

せまいところ
のざわテットーひろばにて



「入ってみよう！」
「中はどうなってるのかな…わくわく！」



真ん中を山折りにしてください。



「流すよ〜」



「きたきたきたー」

流しそば
のざわテットーひろばにて



「もっと流して〜！」